

miratap

洗面

レプトインウォール

組立設置説明書 02-LEP07S-04

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害、物損）に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

禁止 **実行** **注意**
お守りいただく内容を上の記号で区分し、説明しています。



警告

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



分解・改造はしないでください。
思わぬ事故の原因になることがあります。



ミラーキャビネットや洗面キャビネットの据付けは、壁面の木枠の位置や強度が十分であることを確認して設置説明書通り正しく行ってください。



浴室など高温多湿な場所や、水に浸かる可能性がある床面には設置しないでください。
キャビネットの劣化、電気用品を使用する場合は感電のおそれがあります。



直射日光やストーブ、ヒーターなどの熱を発生するものの近くに設置しないでください。
変色や変形、火災をおこすおそれがあります。



電気工事・給排水工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
火災・感電・漏水の原因になることがあります。



組込まれる電気製品・水栓などについては、各説明書および本体の表示事項を守り、正しく設置してください。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



注意

「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容



給水給湯管の接続時に湯水を逆に配管しないでください。
火傷やケガをするおそれがあります。



横引管が逆勾配にならないように取付けてください。
排水能力が悪くなります。



凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください。
配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります。



水道工事後は必ず、給水給湯を行い、配管接続部および給排水各部の水漏れがないことを確認してください。
水漏れ、拡大損害の原因となります。



水道工事などは各市町村の条例に基づいて行ってください。



組立設置完了後は、扉のがたつきやゆるみのないことを必ず確認してください。
落下し、ケガをするおそれがあります。



排水器具・排水管の取付け、および給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。



組立設置・調整時には必ず保護手袋を着用してください。
ケガをするおそれがあります。

2 設置前の注意・確認

《設置前のご注意》

- 重量のある商品や荷姿の大きな商品があるため、受取りの準備をお願いします。
また、商品の品質確保のため、搬入は必ず **2人以上** で手運びにて行ってください。
※ 車上渡しとなります。
- 商品の搬入経路を確保してください。
- 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
※ 設置後の損傷は保証対象外となります。
- 引渡し完了まで、養生材などで商品を養生してください。
※ 養生テープは商品に直接貼らないでください。

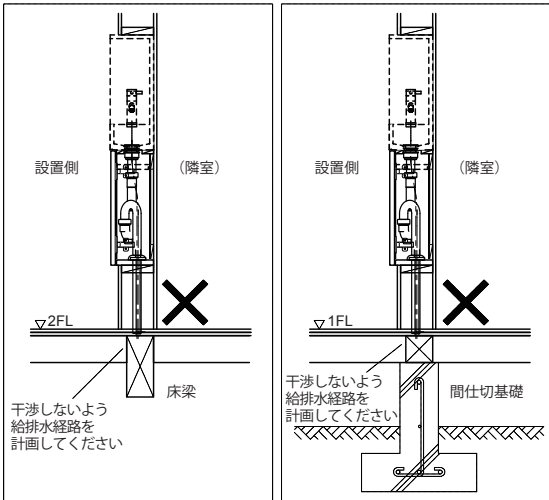
《設置前の確認》

設備位置が図面どおりか、以下の項目を確認してください。

- 設置場所の間口寸法・床の水平・壁の垂直・コーナー部の直角度
※ 水平・垂直・角度などの精度が出ていないと仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。
- 窓枠や建具の位置および寸法
- 取付用下地の位置および寸法（木枠 45mm×75mm 以上の強度のある硬い木材または 12mm 以上の合板）
- 必要な給水管・排水管の位置および接続方法

《室内給排水のご注意》

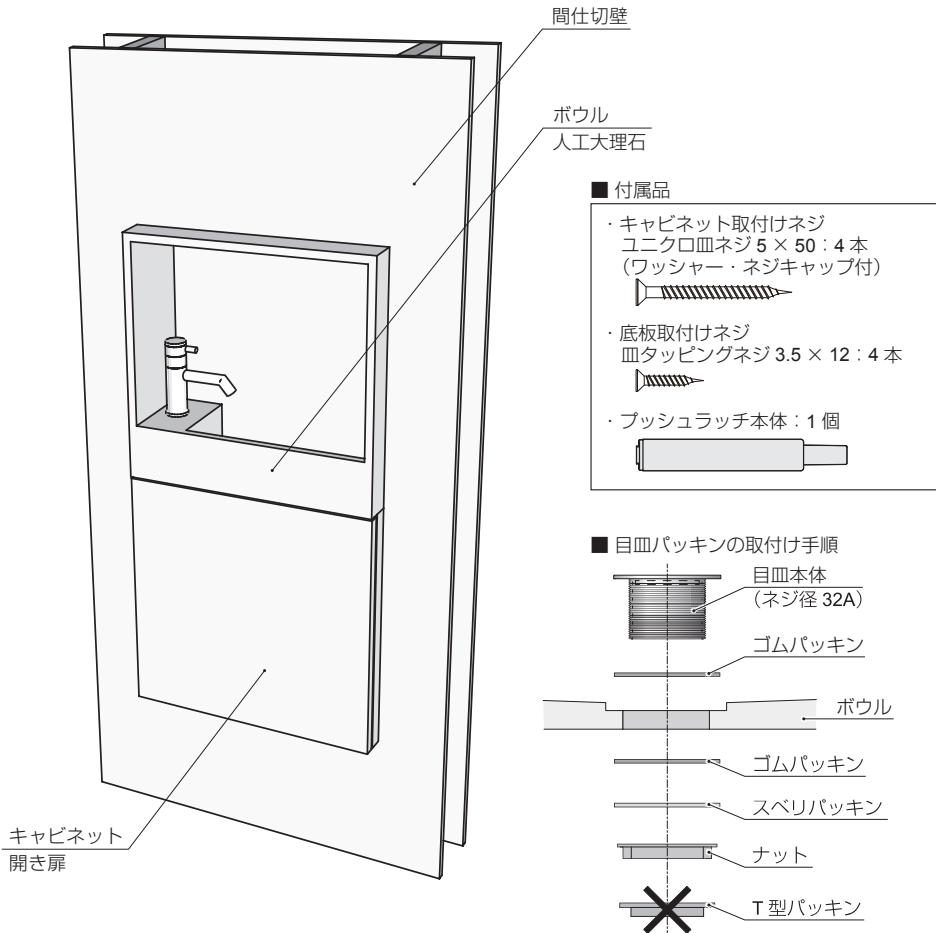
- 通り芯などに位置する、外壁・間仕切り壁などは、設置位置によって建築構造材（基礎・間仕切基礎・土台・根太・床梁等）と干渉する場合があります。
- 給排水経路を確保し、スムーズに設置できるよう設計してください。



キャビネット・ミラーなどを取付ける取付用下地（木枠 45mm×75mm 以上または 12mm 以上の合板）が指定どおりに使用されていることを確認してから取付けてください。
（取付用木枠に十分なネジ保持力がないと、使用中に落下し、ケガをするおそれがあります）

1 各部の名称

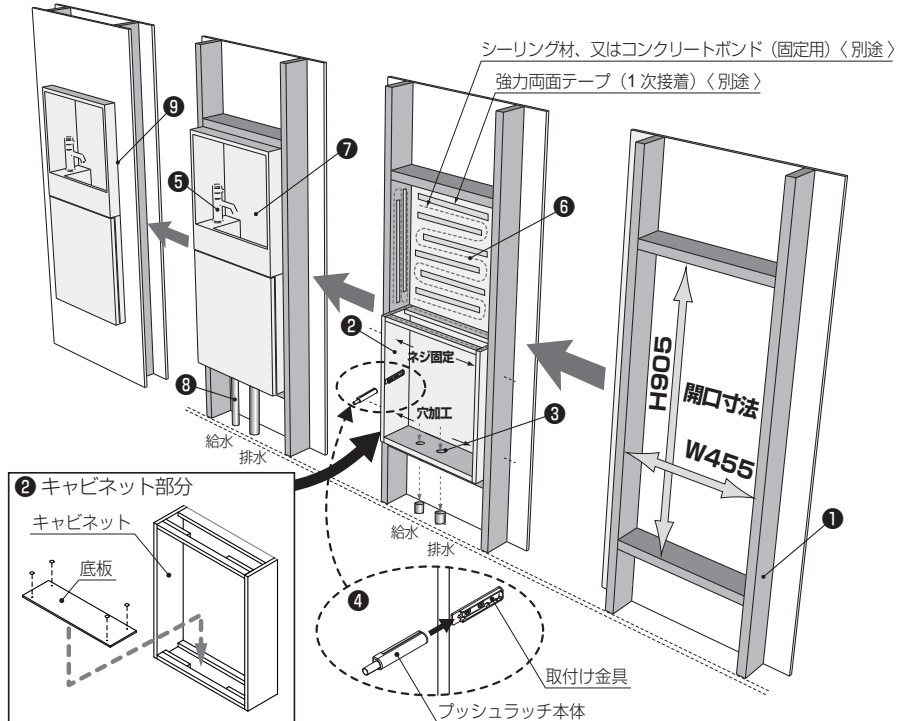
◎レプトインウォール

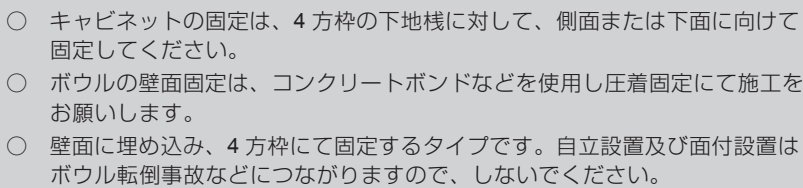


樹脂トラップと目皿の接続には、目皿付属の T 型パッキンを使用しないでください。

3 設置手順

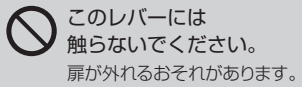
- 1 下地用の胴縁取付け
※ 開口寸法に合わせ、下地用の胴縁を取付けてください。
- 2 キャビネットの取付け
※ キャビネットが左右兼用のため、扉の吊元を確認してキャビネットを付属のネジで縦胴縁に固定してください。
- 3 給排水用の穴加工（底板）及び底板の取付け
※ キャビネットの底板点検口に、必要に応じた配管・配線の取出し穴を開けて、底板を付属のネジで固定してください。
- 4 プッシュラッチの取付け
※ キャビネットの内側側面に付いている取付け金具にカチッと音が鳴るまでプッシュラッチ本体を差し込んでください。
- 5 ボウルに単水栓を取付け
※ 水栓をボウルに取付けてください。
- 6 ボウル固定の下処理
※ ボウル固定用の接着処理をしてください。
- 7 ボウルの固定
※ ボウルを圧着固定してください。
- 8 排水目皿・給排水金具の取付け
- 9 ボードの仕上げ
※ 壁面とボウル・キャビネットの隙間をシール処理してください。



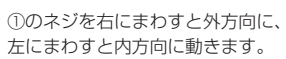


《扉丁番の調整》

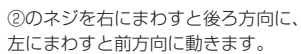
微調整が必要な場合は、丁番のネジ①②③をまわして調整してください。



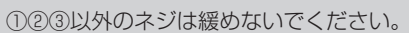
- 左右調整（扉の目地をそろえる）



- 前後調整（扉の前後の傾きを直す）



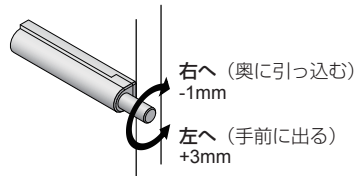
- 上下調整（扉の上下の片寄りを直す）



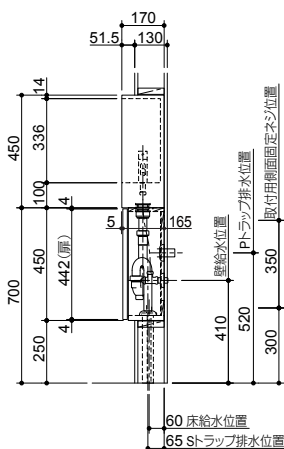
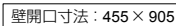
《プッシュラッチの調整》

微調整が必要な場合は、プッシュラッチの先端部を引き出した状態で左右にまわして、飛出し代を調整してください。

- 左へまわす：飛出し代が大きくなる（+ 3 mm）
- 右へまわす：飛出し代が小さくなる（- 1 mm）



《レプトインウォール》



※ キャビネットは「左吊元」「右吊元」共通となっておりますので、現場の状況に合わせて上下反転して施工してください。
※ 壁給水位置 410 はフレキチューブ等 (L=350mm) を使用の場合。

《設置後の確認》

● 設置状況の再確認

- 扉が確実に取付けられていることを確認してください。
- 水栓金具・排水器具が、確実に取付けられていることを確認してください。
- 必ずボウルと排水トラップ接合部、および給排水接続部の水漏れ検査を行ってください。

● 設置後のクリーニング

- キャビネットや扉のホコリ・汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。

間仕切 130mm 厚

間仕切 130mm 厚

51.5

横棧

開口 H ≧ 900

φ32

横棧

49.5

15

105

130

250

床給水・給湯位置 60

Sトラップ排水位置 65

間仕切 150mm 厚

間仕切 150mm 厚

31.5

横棧

開口 H ≧ 900

φ32

横棧

29.5

35

125

150

250

床給水・給湯位置 60

Sトラップ排水位置 65

【標準設置範囲】

埋め込み最大壁厚 150mm

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

